

理念（法人訓）喜ぶ人と共に喜び 泣く人と共に泣きなさい

支援方針こんなちからをそだてます

生活のリズムを整え、身の回りのことは自分で出来るよう家庭と一緒に働きかけます。

あそびや活動を通して、人と関わる力を育てます。

“見る、聞く、嗅ぐ、味わう、触れる”といった五感を通して感じたこと、気付いたこと、考えたことを自由に表現する力を育てます。

本人支援

楽しいことをみつけよう
自分でできることを広げよう

運動・感覚

お子さんの好きなあそび、心地よい感覚を見つけていき、安心できる環境を整えます。

あそびを通して、身体をダイナミックに使うことで姿勢の保持や心の安定、手先の細かい操作、はつきりとした発声・発語に繋がる

土台作りを行います。

言語・コミュニケーション

ことば、指差し、ジェスチャー、視線を向ける等、一人ひとりに合わせた表出手段と一緒に見つけます。職員はお子さんに視線を合わせて向き合いやり取りをする中で、気持ちを受け止めたり代弁したりすることで、“伝えられた”“伝わった”という経験を大切にし、自分からの表出に繋げます。

個別療育

療育時間の中で、作業療法士や言語聴覚士、心理士が専門的に関わるからだあそび、ことばの時間があります。

サービス提供時間
9:30～15:30
(火のみ 9:30～16:30)

<日課>

| | |
|-------|---|
| 8:30 | バス出発 |
| 10:15 | バス学園到着 排泄（着替え）、あそび |
| 11:00 | 朝の会 午前の活動 散步、つどい、集団あそび、 おやつ作り、アート、サーキット リトミックなど |
| 12:00 | 給食 午後の活動 排泄、着替え、リラックスタイム、 帰りの会 |
| 14:30 | バス出発 |

バス送迎と車送迎の選択ができます。



バス保育

ご家庭の事情により通常のバス停で送迎できない場合、バスを1周乗車する方法で対応します。

《家庭との連携》

- * クラスだより（月1回発行）
- * 学園だより（月1回発行）
- * 生活記録表…食事、排泄等、毎日の様子を記録して、毎日やりとりします。
- * おたより帳…親御さんの思い、悩みなどを記入していただき、職員がお返事を書くノートです。
- * 全体懇談会とグループごとのお話会があります。

主な行事

- * 遠足
- * 年長お泊り保育
- * ファミリーデー
- * 運動会
- * きらきら発表会（生活発表）



人間関係・社会性

大人や友達と“一緒にうれしい”“あそんでたのしい”という気持ちを共有し、“人が好きな子”を育てます。人と関わることに安心が持てることで、自分から関わろうとする気持ちに繋げます。そして、集団生活やあそびのルール、友達とペースを合わせること等を徐々に身に着けていきます。

職員の質の向上

職員同士が悩みや疑問を相談し合える関係づくりが大切だと考えています。月に1～2回の園内研修や外部研修、法人研修から学んだことを次に活かせるよう情報共有をして取り組んでいます。

<園内研修例>

- ・事例検討会
- ・専門職の話
- ・心理の話
- ・アレルギー
- ・応急処置
- ・人権擁護
- ・虐待、身体拘束
- ・あそびや環境設定

三方原幼稚園
親子・来園交流

計年5回程度

（親子交流）親子で三方原幼稚園に行って幼稚園のお友達と一緒にあそびます。対象は希望者のみです。

（来園交流）幼稚園のお友達と学園で一緒にあそびます。



移行支援

お子さんの様子に合わせ地域での生活を支援します

就学ガイダンス

年中後期に教育委員会の方より就学についての流れをお話しいただきます。

転園ガイダンス

幼保の特徴や移行の目安、併行通園・転園の流れについて職員がお話をします。

地域支援

家庭や学園以外の場所でできることを広げます



施設開放

学園の中庭、教室などを希望者に対して開放します。地域に出かけるきっかけ作りとして、安心してあそべる空間を提供します。

保育所等
訪問支援事業

併行通園や学園から転園した児の園を訪問し、相談に応じます。
*別途契約が必要です